

道路

提案・意見

掛橋の交差点危険

伊勢市の小俣町のサガミさんの前の掛橋の交差点ですが、松阪方面から伊勢市に向かっていく車線で、右折車線無く、更に、赤信号からの右矢印も無いため、曲がりにくく、更に曲がれない車両も増える為、交差点にてスピードダウンし混み、大きい車両は右折の車両が右に寄っても通り抜け出来ない為、渋滞…。なんとかしてほしいです。

回答

この度は市民の声にご意見、ご提案いただきありがとうございます。
ご提案いただいた掛橋の交差点は、県道鳥羽松阪線で、道路管理者である三重県伊勢建設事務所に申し伝えます。
今後とも市政運営に対しまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

担当課

監理課（2018年5月回答）〔5/7～11〕

観光

提案・意見

ももいろクローバーZの2019年春ライブ誘致について
お願いします。

先日滋賀県東近江市でももいろクローバーZの春のライブが開催されました。

そして2019年4月20日、21日でライブを誘致してくれる自治体を募集することが発表されました。

開催地は名乗りを上げた自治体の中から選考し決定するそうです。

伊勢市は伊勢神宮などの観光地もありパーク&バスライドでの人員輸送もスムーズにでき、サミット、お菓子博、インターハイなど大きなイベントも続いています。この伊勢市で何とかライブを誘致していただけないでしょうか。

地元企業とのコラボや地元小学生がステージで合唱したりも東近江市のライブではありました。

最近のニュースでもかなり報道されていましたが経済効果もかなりあると思います。ももいろクローバーZのメンバーが観光地を訪れてパンフレットを作成してくれます。ライブに来たファン（モノノフ）はメンバーの行った先など聖地として観光に行くことも期待されます。

是非ご検討いただきたいと思います。

伊勢の町を2日間カラフルにしてください。よろしくお願い致します。

回答

ご提案をいただき、ありがとうございます。

富士宮市と東近江市のホームページを拝見し、ライブの開催により、会場となる市には、様々な経済効果等があることを知りました。また、ライブの誘致に関する情報を確認したところ、誘致に係る条件では、「会場は市が所有、又は管理する施設」、「行きやすい、安全にアクセスできる」とありました。

伊勢市では、幅広い年齢層の方々に、文化芸術事業に親しんでいただくための取り組みを進めているところであり、特に、将来の文化芸術活動の担い手である子ども達が文化芸術に接する機会を拡充していくことが必要であると考えております。

しかしながら、数万人規模の観客を収容できる施設がなく、また、物販・飲食等の様々なスペースの確保、更には交通アクセスなど、ライブ会場として相応しく、条件の整った施設をご用意することは、現状として難しい状況でございます。

今後も引き続き、関係する部署や団体等との連携を図りながら、様々な文化芸術公演について、企画してまいりたいと考えておりますので、ご理解をいただきますようよろしくお願い致します。

担当課

観光誘客課、文化振興課（2018年5月回答）〔5/7～11〕

福祉

提案・意見

福祉センターについて

○月○日土曜日の昼ごろ、ロビーで大声をあげて事務所で暴れている人を見ました。その時、子供がすごく怖がっていました。子供がいうには、同じ人が去年も何度かロビーで大声をだしていたので怖かったと言っていました。平日も見かけるとのことです。子供が児童センターを利用していますので、もし暴力されたらと思うと安心して児童センターに行かせることができません。この人やこういう危険な人達をなんとかしてください。

子供が安全に利用でき、親が安心して行かせることができる様な施設にしてほしいです。

回答

平素は、福祉健康センターをご利用いただき、ありがとうございます。

今回、お子様が怖い思いをされたとのことで、ご心配をおかけしたことをお詫び申し上げます。

現在、福祉健康センターは社会福祉法人伊勢市社会福祉協議会が指定管理者として管理しており、今回の件につきましては、伊勢市社会福祉協議会から関係機関へ通報するなど、適切な対応を行ったところです。

ご存知のとおり、福祉健康センターは、老人福祉センター、障害者福祉センター、児童福祉センターなど、様々な機能を持つ複合施設となっております。多くの市民の皆様方にご利用いただいています。

今後も、市民の皆様方に安心してご利用いただけるよう、引き続き安全管理に留意してまいりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

貴重なご意見、ありがとうございました。

担当課

福祉総務課（2018年5月回答）〔5/7～11〕

健康

提案・意見

赤ん坊の抱きひもについて

昨今赤ん坊を前抱にしている人が殆どです。小さい我が子と対面が出来、子供の表情が手にとりやすい、気持ちは良く判ります。

そもそも身体の前に重心があると必然と背中を反り腰に負担をかけ腰痛になる可能性が大きい。

腰痛になりますと「咳」や「くしゃみ」をしても腰にビリッと電気が走ったような痛みがあり歩く事や寝転んでも「じっと」している事ができず整体に厄介になります。

私は長い間腰痛を患い、悪くなると整体に通っておりました。

この抱きひもについて国がする事だと思わず伊勢市が前に立ち考えてもらいたい。

私が子育てをした頃は背中に赤ん坊を「おんだ」ものです。両手が使え長時間の重圧に耐へます。

回答

この度は、ご自身の腰痛体験から、「赤ん坊の抱きひもについて」への貴重なご意見をありがとうございます。

子育て中の腰痛については、以前から多く聞かれる悩み事の一つで、その予防として、「正しい抱っこやおんぶの仕方」を妊婦教室や赤ちゃん訪問、子育て相談などの機会を通じて紹介している状況です。

いただきましたご意見のとおり、昨今はおんぶより抱っこする姿にすることが多いようですが、実際にお母さん方のお話を伺うと、赤ちゃんの月齢や場面により、おんぶするか、抱っこするか使い分けをされているようです。

「抱っこ」も「おんぶ」もそれぞれに、メリット、デメリットがあり、「抱っこ紐」も「おんぶ紐」も正しい使い方をして初めて、腰痛予防も含めて、安全に快適に使えるものであると思っています。そのため、状況に応じて、これらを上手く組み合わせて、使っていただけたらと考えています。

今後、子育て世代の皆さんが、腰痛予防を意識して、使用場面や、子どもの月齢・体格などを考慮して、適した方法（抱っこ紐・おんぶ紐など）を選んでいただけるよう情報提供に努めていきたいと考えています。ご理解賜りますようよろしくお願いいたします。

担当課

健康課（2018年5月回答） [5/7~11]

その他

提案・意見

議会報告会の開催を要望と説明を求めます

前回、伊勢市議会における議会報告会の開催の要望と、議会報告会が広聴検討分科会において議題に上がっていないことの説明を求めました。

議会事務局からは、まったくの見当はずれの回答しか頂けず、残念に思っています。

(1) まず、いつのまにか「議会報告会」が「議会報告会・意見交換会」にすり変わっていますが、それはどうしてですか？ 説明をお願いします。議会事務局からの回答では、「議会報告会・意見交換会」につきましては、その実施体制や手法等を検討する中で、従来どおりのやり方ではないものを検討・協議していると説明していますが、

(2) 「意見交換会」ではなく「議会報告会」の実施体制や手法について、いつ検討や協議したのか日時と会議名及び会議録を全て公表してください。

(3) 従来通りの実施体制や手法では、どのような課題や問題があったのか、教えて下さい。議会報告会では、参加者に対するアンケートを実施していましたが、そこには、議会報告会の必要性和継続の声ばかりだったはずです。

(4) 伊勢市の住民に対する議会報告会の実施体制や手法が、どうして「若い世代にも地域行政等に関心を持ってもらうためにはどうすべきかを考えるため」と、議題がすり変わっているのか、説明して下さい。第5回議会報告会は、各地で開催された中には、皇學館大学において報告会が行われています。議会報告会を行う開催地の中に、皇學館大学で議会報告会を行えば良いだけではありませんか？

(5) 若い世代に地域行政等への関心を持たせたいというのなら、高校生や中学生が対象になっていない理由を、説明してください。

(6) 「総連合自治会の委員の方々とも意見交換会を行い」とありますが、それはいつ、どこで、開催を決めたのでしょうか？ 意見交換会を協議した日時と会議名及び会議録を教えてください。

(7) また、その意見交換会の報告書はどこにあるのでしょうか？ 報告書を公開してください。

最後に、従来の手法と実施体制で十分ですので、議会報告会を開催してください。

回答

再度、議会報告会の開催要望に関するご意見をいただきましたので、以下のとおり回答いたします。

(1) 「議会報告会」が「議会報告会・意見交換会」にすり変わったとの指摘について

→広聴検討分科会の検討事項の一つとして、「伊勢市議会のあり方調査特別委員会企画調整部会及び分科会の設置に関する要綱」で「議会報告会及びその他市民の意見を聴く」と規定しており、これを「議会報告会・意見交換会」と表記したもので、すり替えを行った訳ではございません。

(2) 「議会報告会」について検討した日時・会議名等は
→平成28年8月16日の午後0時59分から開会した伊勢市議会のあり方調査特別委員会広聴検討分科会で検討しました。その会議記録はホームページで公表していますので、ご確認ください。

(3) 従来の「議会報告会」での課題・問題点は
→回を追うごとに参加者の減少、偏り、固定化が見られました。また、平成28年に実施した「伊勢市議会アンケート」の調査結果では、議会報告会の開催を「知らない」方が8割、「知っている」方のうち、実際に参加した方は2割で、今後開催を「望む」方は4割、「参加したい」方は2割であったことなどから、従来の実施方法を見直す必要があると判断いたしました。

(4) 議会報告会が「若い世代にも地域行政等にも関心を持ってもらうためにはどうすべきかを考えるため」になぜすり替わったのか

→前述の課題・問題点を踏まえ、広く若い世代の方々にも関心を持ってもらうにはどうすべきかを考えるため、皇學館大学の学生との意見交換会を行ったものであり、議会報告会をすり替えた訳ではございません。

(5) 高校生や中学生が対象になっていない理由は
→皇學館大学の学生と意見交換を行うこととした経過につきましては、平成28年8月16日以降、11月7日、11月28日、平成29年3月23日、5月30日の伊勢市議会のあり方調査特別委員会広聴検討分科会の結果概要をホームページで公表しておりますので、ご確認ください。

(6) 総連合自治会との意見交換会の開催を決めたのは、いつ、どこでか。会議録は

→平成29年5月30日午後4時9分から開会した伊勢市議会のあり方調査特別委員会広聴検討分科会で検討しており、その会議記録についてもホームページで公表しています。

(7) その意見交換会の報告書はどこにあるのか
→総連合自治会との意見交換会については、報告書の公開を行っていませんが、平成29年9月4日の伊勢市議会のあり方調査特別委員会で分科会長が結果報告を行っており、その内容についてはホームページで公表していますので、ご確認ください。

最後に、議会報告会の開催につきましては、繰り返しになりますが、現在、広く市民に参加してもらえる「議会報告会」のあり方・手法等について検討中であり、確定次第、お知らせしますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

その他

提案・意見

地区担等について

- ・地区担が月1度組長を使ってくる月収は毎日、雨の日も風の日も新聞をくばる私のとかわらないのはおどろきです。選きよ公報も組長です。ぬれ手にあわ、で おかしい。
- ・やすらぎ墓の管理ヒを払ってますが決算書を見たことがない。開示するのは必要と思うがどうか。

回答

地区連絡員事業（地区担）につきましては、既に廃止をしております。現在では、広報紙配布等事業として、まちづくり協議会や自治会へ広報紙の配布を依頼し、地区ごとに世帯数に応じた交付金を支払っております。配布員の方への支給額につきましては、地区独自で運用されておりますので、ご理解いただきますよう、よろしく願いいたします。
（市民交流課）

また、伊勢やすらぎ公園墓所の決算書へのご意見につきましては、同墓所を管理している一般財団法人伊勢市霊園公社へお伝えしました。
（広報広聴課）

担当課

市民交流課、広報広聴課（2018年5月回答） [5/7~11]